

地域おこし協力隊として Vol.112

只見町教育振興協力隊 向坂 雄一郎



私が「地域おこし協力隊」として、この只見町にやってきて3年がたち、この3月31日で任期が終了いたします。この3年間、町教育委員会の一員として主に「只見町山村教育留学生」をはじめとした「只見高校生」に関わる教育振興に携わって参りました。私事で恐縮ではありますが、自分の息子が「只見町山村教育留学第17期生」としてこの町にお世話になり、様々な皆さまとの関わりから大きく成長させていただいたこと（※当家比）にたいへん感謝しております。また私たち夫婦も、只見町にてそれぞれ「地域おこし協力隊」、「教育支援員」として勤務させていただき、町の皆さまとさまざまな関わりを持てたことは貴重な人生の財産であると感じています。任期終了後は、また別の形で地域の皆さまとともに歩んで参ります。3年間、本当にありがとうございました。そして今後どうぞよろしく願いいたします。

今月の用語解説

「ESD」(P10「明和小学校『伝統芸能発表会』開催」下から3行目)

「ESD」とは、^{エデュケーション}「Education for Sustainable Development」(持続可能な開発のための教育)の略です。視野を広げ、規模の大きな課題を自らの問題として捉え、自分にできることを考え、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育のことです。

只見町の小中学校では、地域の自然や文化に触れる「只見学」を学ぶことを通し、ふるさとを愛し、誇りに思う心を育て、只見町の豊かな存続に寄与できる子どもたちを育てています。



※今月の広報ただみ診療所は、休載いたします。